

記入例

(表面)

※登録番号			
※狩猟免許			
※損害の賠償			
※放鳥獣猟区の区域の登録の有無			
※施行規則第65条第1項第7号、第8号又は第9号			
※整理番号		※対象鳥獣捕獲員	
狩猟者登録申請書 長野県知事 殿			写真
住所	(郵便番号380-8570) 長野市南長野幅下692-2		
ふりがな氏名	ながの たろう 長野 太郎		長野県収入証紙欄 (消)
生年月日	年 月 日		
電話番号	連絡可能な番号を記入願います		1800円×登録を受けようとする狩猟免許の種類  狩猟税と合わせて指定口座へ振込み又は現金書留にて送付ください。
<p>下記のとおり狩猟者登録を受けたいので、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第56条の規定により申請します。</p> <p>記</p> <p>(1) 狩猟者登録を受けようとする狩猟免許の種類及び使用しようとする猟具の種類、狩猟免許を与えた都道府県知事名、狩猟免状の番号並びに交付年月日</p>			
狩猟免許の種類及び使用しようとする猟具の種類	狩猟免許を与えた都道府県知事名	狩猟免状の番号	
1 網猟免許	知事	年月日	
2 わな猟免許	〇〇県知事	〇〇号 〇年〇月〇日	
3 第一種銃猟免許	<input checked="" type="checkbox"/> ライフル銃 <input type="checkbox"/> 散弾銃 <input type="checkbox"/> 空気銃 (圧縮ガスを使用するものを含む。)	〇〇県知事 〇〇号 〇年〇月〇日	
4 第二種銃猟免許	<input type="checkbox"/> 空気銃 (圧縮ガスを使用するものを含む。)	知事 年月日	
(2) 狩猟をする場所			
1 長野県の区域全部	2 放鳥獣猟区の区域		

(裏 面)

(3) 免許の効力の停止の有無 (ない場合には「ない」と、ある場合には「ある」と記入し、かつ、ある場合には、その停止の期間を記載すること。)				
免許の効力の停止の有無	ない	停止の期間	年 月 日から 年 月 日まで	
(4) 猟銃・空気銃所持許可証の番号及び交付年月日 (第一種銃猟免許又は第二種銃猟免許の場合)				
<b>所持許可証の番号と交付年月日を記入願います</b>				
猟銃・空気銃所持許可証の番号	号	交付年月日	年 月 日	
(5) 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律施行規則第65条第1項第7号から第9号までの規定に該当する場合又は対象鳥獣捕獲員である場合にあっては、その旨	<input type="checkbox"/>	第7号に該当		
	<input type="checkbox"/>	第8号に該当		
	<input type="checkbox"/>	第9号に該当		
	<input type="checkbox"/>	対象鳥獣捕獲員	所属市町村の名称 ( )	
(6) 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律施行規則第67条の要件に関する事項				
共 済 事 業	法 人 名	対 象 損 害	給 付 額	被 共 済 者 期 間
	大日本猟友会	対 人	4,000万円	R5.11.15 ~ R6.11.14
損害保険契約	保険会社名	対 象 損 害	保 険 金 額	被 保 険 期 間
資 産 保 有				
(7) 職 業	地 方 公 務 員			
職 業 の 分 類	1 専門的・技術的職業従事者 2 管理的職業従事者 ③ 事務従事者			
	4 販売従事者 5 農林業従事者 6 漁業従事者 7 採鉱・採石作業 者 8 運輸・通信従事者 9 技能工・生産工程作業 10 単純労働者 11 保安職業従事者 12 サービス職業従事者 13 分類不能の職業 14 無職			

- (備考) 1 (1)は該当番号を○で囲み、該当項目の□に✓印を付すこと。  
2 (2)は該当番号を○で囲むこと。  
3 (5)は、該当項目の□に✓印を付し、所属市町村の名称を記載すること。  
4 (7)は、職業を具体的に記載し、職業の分類の該当番号を○で囲むこと。  
5 ※印欄には、申請者は記載しないこと。

- (添付書類) 1 (5)に該当する場合は、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律施行規則第65条第2項第3号から第5号までに規定する書類及び市町村の長が、申請者が対象鳥獣捕獲員であることを証する書面  
2 (6)に記載した事項を証する書面  
3 申請前6月以内に撮影した無帽、正面、上三分身、無背景の縦の長さ3.0センチメートル、横の長さ2.4センチメートルの写真で、その裏面に氏名及び撮影年月日を記載したもの2枚